

第67期中間報告書

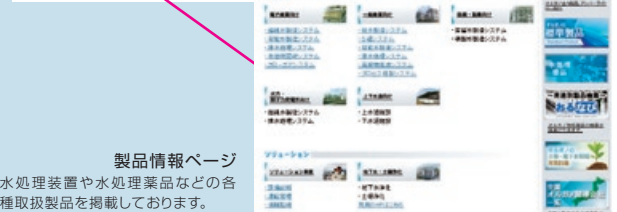
平成23年4月1日～平成23年9月30日

ホームページのご紹介

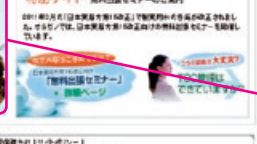
●TOPページ



IRページ
最新のIR情報を提供しております。



製品情報ページ
水処理装置や水処理薬品などの各種取扱製品を掲載しております。



純水・超純水情報サイト
専門的な視点から、わかりやすく解説しております。

<http://www.organo.co.jp/>



Ecologically Clean

IRカレンダー (平成23年10月1日～平成24年9月30日) ※平成23年12月2日現在の予定です。

- 第2四半期決算説明会
- 決算説明会
- 招集通知発送
- 中間報告書発送
- 決議通知・報告書発送



オルガノ株式会社

〒136-8631 東京都江東区新砂1-2-8 経営企画部 TEL.03-5635-5111
ホームページアドレス <http://www.organo.co.jp/>



オルガノ株式会社

企業コンセプト

Ecologically Clean

企業理念

オルガノグループは
かけがえのない地球の未来を見つめ
“心”と“技”で水の価値を創造する

経営理念

- お客様にとって、最適な商品・技術・サービスを創造し、提供し続ける企業を目指す
- 株主様にとって、常に成長し、安定収益をあげる魅力的な企業を目指す
- 社員にとって、働き甲斐のあり、誇りの持てる企業を目指す

株主の皆様へ

代表取締役社長

内田 裕行



平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。
東日本大震災により被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。
ここに当社の第67期事業年度（平成23年度）中間期のご報告をさせていただきます。

1. 当第2四半期連結累計期間の概況

当期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による厳しい状況のなか、サプライチェーンの立て直しなど景気持ち直しの動きがみられましたが、欧州の金融不安、急激な円高などを背景に先行き不透明なまま推移しました。
当社グループを取り巻く市場環境は、海外においてアジア地域の新興国の経済成長に若干の減速がみられる一方、国内においては震災の復旧などに伴う設備投資及び生産活動の持ち直しの動きがみられました。
このような状況のもと、当社グループは震災の復旧に対応するとともに、産業全般・海外分野での営業体制を強化し、一層のコストダウンによる収益

の改善に取り組んでまいりました。

この結果、受注高、売上高につきましては、メンテナンスや改造工事などのソリューションビジネスを中心に電子産業分野及び一般産業分野での受注、売上が伸長し、受注高376億円（前年同期比14.9%増）、売上高302億円（同17.5%増）と前年同期に比べて増加しました。

利益面につきましても、ソリューションビジネスを中心に売上が増加したことに加え、継続して原価低減に取り組んだ結果、営業利益20億円（前年同期比130.5%増）、経常利益19億円（同164.5%増）、四半期純利益10億円（同190.0%増）と前年同期に比べて大幅に改善しました。

当期の中間配当金につきましては、当期間の実績及び通期の見通しを勘案し、前期末配当金と同じく1株当たり6円とさせていただきます。

2. 通期の見通し

前述の通り、当期間の業績は比較的順調に推移したものの、欧州の金融不安、急激な円高、タイにおける洪水被害などを背景に、景気の先行きに不透明感が強く、設備投資や生産活動の動向は楽観できない状況です。

したがいまして、通期の業績見通しにつきましては、受注高は当初計画を若干上回る690億円（前期比4.4%増）とさせていただきますが、売上高、利益面に関しましては、売上高670億円（前期比9.7%増）、営業利益40億円（同13.2%増）、経常利益38億円（同12.5%増）、当期純利益21億円（同13.0%増）と従来予想を据え置いております。

3. 今後の経営方針

東日本大震災より9か月が経過し、自動車・半導体など全般的な生産力は回復に向かっているとはいえ、電力の供給不安や過去

に例のない円高の進行により、国内企業の海外移転はさらに進むものと見込まれています。また、水処理ビジネスへの他業種からの相次ぐ参入、コスト競争の激化など当社を取り巻く事業環境は厳しさを増しています。

海外では、タイで発生した大洪水によるサプライチェーンの寸断によって海外進出先が見直される可能性が出てくるなど不確定要素はあるものの、全般としてはアジア地域経済は拡大傾向が続くと見込まれています。また、国際的に水ビジネスに注目が集まり、伝統的な上下水道分野の「ボリュームゾーン」だけでなく、当社の得意とする工業用水・工業排水などの「成長ゾーン」ビジネスが2025年には12.2兆円、2007年の3倍にまで拡大するとの見通しです。

厳しい事業環境を勝ち抜き、海外を中心に成長を続ける市場を的確に捉えるため、当社グループは中期経営計画を昨年度から実施し、「事業構造の改革と企業体質の改善」を進めております。本計画では「Customer Value創造企業」を経営ビジョンとして掲げ、国内外を問わず様々なお客様のニーズに応えるために、技術・サービスとコストの両面からお客様の価値と満足を創造する企業を目指しております。

4. 最後に

当期は、中期経営計画の2年目の折り返し地点にあり、最終年度にあたる平成24年度には確実に計画を達成できるようグループを挙げて全力で取り組んでおります。

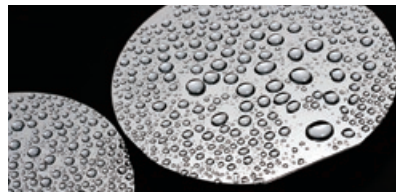
株主の皆様におかれましては、今後ともますますのご指導、ご鞭撻を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

平成23年12月

▶ プラント事業

電子産業分野

半導体や液晶、各種電子部品・材料の洗浄工程に欠かせない超純水の製造装置をはじめ、各種の排水処理設備、外部へ排水を出さずに循環利用するクローズドシステム、排水からの有価物回収システムなど、電子産業分野においてオルガノは世界トップレベルの技術を誇っています。



一般産業分野

化学、石油精製、食品工業、紙・パルプ、繊維・染色、自動車、メッキ工業など、あらゆる産業に対して、プロセス用水の処理システム、各種の排水処理設備、水の回収・再利用システムなどを提供し、高い評価をいただいています。



電力分野

高い信頼性を求められる火力・原子力発電所向け水処理プラント。オルガノはこの分野で圧倒的なシェアを誇っています。なかでも発電所において、主要水処理設備である復水ろ過・脱塩装置は、オルガノの独壇場として長年トップシェアを堅持しています。さらに、国内のみならず東南アジアや米国の発電所向けにも水処理装置を納入するなど、その技術力の高さを証明しています。



上下水道分野

私たちの生活に欠かせないライフラインである上水道・下水道。上水道では沈でんろ過、膜ろ過、活性炭やオゾンによる高度処理設備など、下水道では生物処理設備、高速繊維ろ過装置など、オルガノの技術が活躍しています。



医薬品分野

安全性が特に重要視される医薬品製造プロセス。ここでもオルガノの高度な技術が活かされています。注射用水をつくる蒸留水製造設備や製薬設備を細菌から守る純粋蒸気発生器など、高純度でバイロジェン（発熱性物質）を含まない、高い安全性を有する水をつくるシステムを提供しています。



▶ ソリューション事業

メンテナンス

長年培ったノウハウをもとに、水処理装置に関する修理や部品交換、定期点検、保守点検などのメンテナンスを行います。

提案型サービス

既設水処理装置の設備診断とあわせて改善・改良提案を行います。また、薬品使用量や廃棄物の削減など、環境負荷低減に貢献する提案を行います。

水処理アウトソーシング受託事業

■ 包括メンテナンス

お客様の工場にある水処理装置の点検と消耗品交換などのメンテナンスをオルガノが一括受託することにより、安心して装置をお使いいただけます。

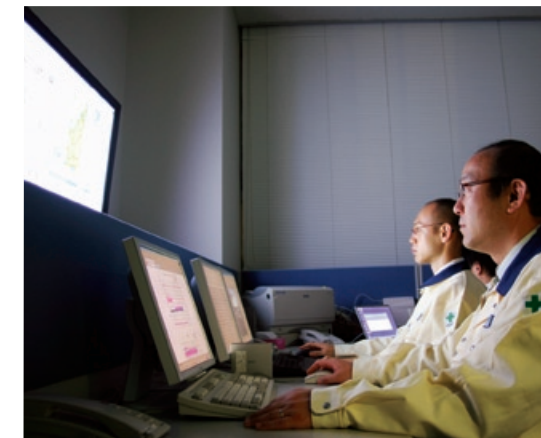


■ 処理水供給

お客様の工場内にオルガノが水処理装置を設置し、使用量に応じた処理水を供給します。お客様のニーズも高まっており、大規模な水処理加工業務を受託しています。

■ 遠隔監視

オルガノ本社内にある監視センターで、お客様の水処理装置の運転状況を遠隔監視しており、異常があった際の早急な現場対応をバックアップします。装置の運転データから傾向変化を読み取り、予測監視により水処理プラントのトラブル防止に貢献します。



■ 運転管理

ノウハウを有した運転担当者を派遣し、状況に応じた適切な運転管理を行うことにより、お客様の負担を軽減し、安定かつ効率的な運転を実現します。

▶ 機能商品事業

標準製品

純水装置はもちろん、水に新たな機能を付加する機能水製造装置など、短納期・低コストで豊富な商品ラインアップを有しており、電子産業から食品工場、病院、研究所、レジャー施設まで、ニーズに合わせて広く用いられています。



キャビネットタイプ純水装置 PROシリーズ

電気脱塩式純水装置 SD-HFシリーズ

水処理薬品

冷却効果を高め省エネにつなげる冷却水処理薬品やボイラを効率的に運転するための処理剤、廃棄物の削減につながる排水処理剤など、水処理用の多様な薬品をラインアップ。装置と組み合わせたトータルシステムを提案し、安定運転を実現します。



食品加工材

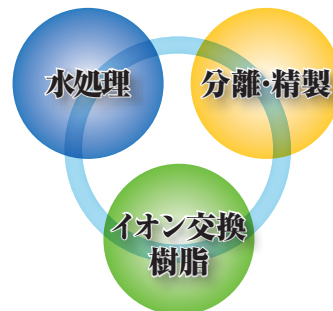
食品加工材の分野では、主にハムや即席めんの改良に用いられるリン酸塩が国内トップシェアの実績。その他、第三のビールに使用されるエンドウたん白をはじめ、様々な品質改良剤、食品素材を開発・製造・販売しております。オルガノの技術は豊かな食文化の創造にも貢献しています。



イオン交換樹脂

食品・医薬品精製システムをトータルサポート

イオン交換樹脂は、工場ボイラ水や製品洗浄用水をつくる目的で多く利用されており、お客様の製品生産を陰から支えています。一方で、食品・医薬品の分野では、アミノ酸、ポリフェノールなどの機能性食品素材の抽出やオリゴ糖などの糖の脱色、医薬品成分の抽出・精製など、メインの製品生産工程でもイオン交換樹脂や合成吸着剤が利用されています。当社は、水処理や分離・精製で培った技術と長年の実績をベースに、お客様に対してメインの製品生産工程から、純水・軟水製造、排水処理、水回収などの周辺設備まで、イオン交換樹脂を通じてあらゆる面からトータルサポートできるソリューションシステムを提供しています。



純水装置レンタルビジネス強化

近年、景気変動による設備の遊休化を防ぐため、恒久的な設備を設置するのではなく、必要な量を必要な期間供給する純水装置レンタルビジネスが拡大しています。また、災害復旧や設備の更新時、短納期の工事の際など、仮設水処理設備のニーズも増えています。オルガノでは、コンテナ型純水装置（ピュアボックス）を平成10年からレンタル提供していますが、こうしたニーズの高まりを受け、ピュアボックスの増産を進めています。災害復旧や、設備更新、短納期の対応を充実させ、顧客満足度を高めるとともに、従来の「モノ」の販売ではなく、サービス（機能）を提供することにより、省資源と環境負荷低減に寄与します。



コンテナ型純水装置（ピュアボックス）

ステンレス製カートリッジ純水器をラインアップ

カートリッジ純水器市場でトップシェアを誇るオルガノが、ステンレス製の純水器をラインアップに加えました。お客様の導入のしやすさを考え、初期投資の不要なレンタル方式を採用し、必要とされる純水を必要な量、必要な期間提供します。研究・分析分野や製薬・化粧品の開発など高い衛生度やイオン交換樹脂のトレーサビリティを重視するお客様のニーズにお応えします。



カートリッジ純水器（FW-10）

連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科目	当第2四半期末 (平成23年9月30日現在)	前期末 (平成23年3月31日現在)	比較増減
資産の部			
流動資産	50,509	52,550	△ 2,041
固定資産	26,156	26,039	116
有形固定資産	22,850	22,734	116
無形固定資産	343	369	△ 26
投資その他の資産	2,962	2,935	26
資産合計	76,665	78,590	△ 1,925
負債の部			
流動負債	28,075	29,827	△ 1,752
固定負債	6,794	7,646	△ 851
負債合計	34,870	37,474	△ 2,603
純資産の部			
株主資本	41,648	40,932	715
資本金	8,225	8,225	-
資本剰余金	7,508	7,508	-
利益剰余金	26,234	25,516	717
自己株式	△ 319	△ 317	△ 2
その他の包括利益累計額	△ 217	△ 184	△ 32
少数株主持分	364	368	△ 4
純資産合計	41,795	41,116	678
負債純資産合計	76,665	78,590	△ 1,925

◆**流動資産**
リース投資資産は増加したものの、現預金及び売上債権の減少などにより2,041百万円減少しました。

◆**流動負債**
仕入債務の減少などにより1,752百万円減少しました。

◆**固定負債**
長期借入金の減少などにより851百万円減少しました。

◆**純資産の部**
四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加などにより678百万円増加しました。

連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	当第2四半期(累計) (平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで)	前第2四半期(累計) (平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで)	比較増減
売上高	30,223	25,719	4,503
売上原価	21,682	18,762	2,920
売上総利益	8,540	6,957	1,583
販売費及び一般管理費	6,469	6,058	411
営業利益	2,071	898	1,172
営業外収益	82	73	9
営業外費用	166	221	△ 54
経常利益	1,986	751	1,235
特別利益	8	29	△ 20
特別損失	35	31	4
税金等調整前四半期純利益	1,959	749	1,210
法人税等	871	368	503
少数株主損益調整前四半期純利益	1,088	381	707
少数株主利益	24	14	10
四半期純利益	1,063	366	696

◆**売上高**
メンテナンスや改造工事などのソリューションビジネスを中心に電子産業分野及び一般産業分野での売上が伸長し、前年同期と比べて4,503百万円増加しました。

◆**営業利益・経常利益**
ソリューションビジネスを中心に売上が増加したことに加え、継続して原価低減に取り組んだ結果、営業利益2,071百万円、経常利益1,986百万円と、前年同期と比べてともに大幅に増加しました。

連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	当第2四半期(累計) (平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで)	前第2四半期(累計) (平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,353	2,712
投資活動によるキャッシュ・フロー	524	39
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,035	△ 218
現金及び現金同等物に係る換算差額	27	△ 10
現金及び現金同等物の増減額	△ 4,837	2,523
現金及び現金同等物の期首残高	13,376	12,630
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,538	15,153

◆**営業活動によるキャッシュ・フロー**
4,353百万円の資金流出となりました。主な資金の増加は税金等調整前四半期純利益の計上及び売上債権の減少によるものであり、主な支出は仕入債務の減少及びたな卸資産の増加によるものです。

◆**投資活動によるキャッシュ・フロー**
524百万円の資金流入となりました。主な資金の増加は土地譲渡契約に伴う手付金等収入によるものであり、主な支出は有形固定資産の取得によるものであります。

◆**財務活動によるキャッシュ・フロー**
1,035百万円の資金流出となりました。主な支出は長期借入金の返済及び配当金の支払によるものです。

当第2四半期末の現金及び現金同等物は前期末に比べて4,837百万円減少し、8,538百万円になりました。

セグメント別業績

（単位：百万円）

科目	当第2四半期(累計) (平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで)	前第2四半期(累計) (平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで)
■受注高		
水処理エンジニアリング事業	27,672	22,861
機能商品事業	9,979	9,900
■売上高		
水処理エンジニアリング事業	20,723	15,830
機能商品事業	9,499	9,888
■セグメント利益		
水処理エンジニアリング事業	1,315	101
機能商品事業	755	797

【水処理エンジニアリング事業】

当事業においては、アジア地域の新興国だけでなく、震災の復旧対応も含め産業全般での受注が増加し、メンテナンスや改造工事などのソリューションビジネスを中心に電子産業分野及び一般産業分野での売上が増加した結果、受注高27,672百万円、売上高20,723百万円、営業利益1,315百万円となりました。

【機能商品事業】

当事業においては、震災や節電対応などの影響を受けた生産活動が持ち直し傾向にあるなか、受注は前年同期並みを確保したものの、一時的な顧客工場の操業度低下などにより売上が低調に推移した結果、受注高9,979百万円、売上高9,499百万円、営業利益755百万円となりました。

注) 本報告書は決算短信の数値、文章を基に作成しております。その後公表される可能性がある訂正情報や業績予想の修正情報や決算の詳細につきましては、当社ホームページの掲載資料などにてご確認ください。

会社概要

商号 オルガノ株式会社 (英文 ORGANO CORPORATION)
 創業 昭和21年5月1日
 資本金 8,225,499,312円
 従業員数 連結1,767名 (単体691名)
 事業内容 当社は総合水処理エンジニアリング会社として、イオン交換樹脂、分離膜、活性炭等を使用する各種用排水処理装置の製造、販売、メンテナンス及び水処理アウトソーシング受託並びに各種薬品、食品加工材の販売を主な事業としております。

主要な事業所

本社 〒136-8631
 東京都江東区新砂1丁目2番8号
 開発センター 相模原
 工場 つくば、いわき
 事業所 長崎
 支店 北海道、東北、中部、関西、中国、九州、台湾

主要なグループ会社

■ 連結対象子会社

(国内) オルガノ北海道(株) (海外) Organo(Asia)Sdn.Bhd.
 オルガノ東北(株) オルガノ(蘇州)水処理有限公司
 オルガノ東京(株) 奥璐佳瑞科技股份有限公司
 オルガノ中部(株)
 オルガノ関西(株)
 オルガノ九州(株)
 オルガノプラントサービス(株)
 オルガノフードテック(株)
 オルガノアクティ(株)

取締役・監査役・執行役員

取締役社長	内田 裕 行
取締役兼専務執行役員	鬼頭 和 夫
取締役兼専務執行役員	山根 修 二
取締役兼常務執行役員	力武 一 夫
取締役兼常務執行役員	奥園 修 一
取締役兼常務執行役員	浦井 紀 久
取締役兼常務執行役員	渡辺 大 輔
取締役兼執行役員	伊藤 智 章
取締役	山村 正 春
常勤監査役	中村 聖 和
監査役	高德 宗 忠
監査役	中根 俊 章
執行役員	砂岡 好 夫
執行役員	古内 力
執行役員	羽多野 敦
執行役員	長谷川 雅 順
執行役員	梅 香 豊
執行役員	明賀 春 樹

(注1) 内田裕行、鬼頭和夫、山根修二は代表取締役であります。
 (注2) 高德宗忠及び中根俊章は社外監査役であります。
 (注3) 中根俊章を東京証券取引所に独立役員として届け出ております。

■ その他グループ会社

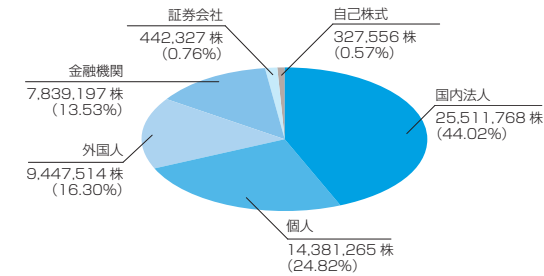
(国内) オルガノ山下薬品(株) (海外) Organo(Thailand)Co., Ltd.
 オルガノ・ハイテック(有) Organo(Singapore)Pte Ltd
 環境テクノ(株) Organo(Vietnam)Co., Ltd.
 オルガノエコテクノ(株)
 東北電機鉄工(株)

株式の状況

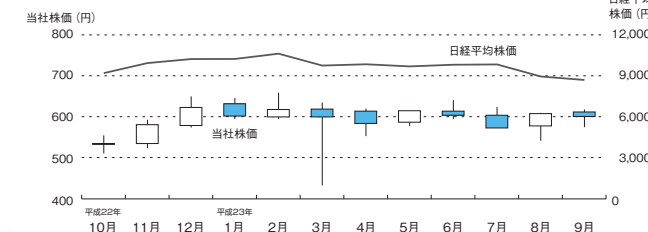
- 発行可能株式総数 126,960,000 株
- 発行済株式総数 57,949,627 株
- 株主総数 8,168 名
- 大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
東ソー株式会社	23,877	41.20
ザバンク オブ ニューヨーク・ジャスディック トリーティー アカUNT	2,018	3.48
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,585	2.73
株式会社みずほ銀行	1,000	1.72
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	861	1.48
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー	798	1.37
ザバンク オブ ニューヨーク ノントリーティー ジャスディック アカUNT	777	1.34
みずほ信託銀行株式会社	775	1.33
ピーピーエイチ・ピーピーエイチ・エイ・エス・アイ・エー・ヌー・ビーン グローバル インベスターズ ファンド グローバル オール	553	0.95
ザバンク オブ ニューヨーク トリーティー ジャスディック アカUNT	411	0.70

● 所有者別株式分布状況



● 株価及び売買高の推移



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
 定時株主総会 6月
 基準日 定時株主総会の議決権 3月31日
 期末配当 3月31日
 中間配当 9月30日
 単元株式数 1,000株
 公告掲載方法 電子公告
 公告掲載アドレス <http://www.organo.co.jp/>
 ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
 株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 中央三井信託銀行株式会社(※1)
 連絡先 〒168-0063
 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
 電話0120-78-2031 (フリーダイヤル)
 中央三井信託銀行株式会社 本店・全国各支店
 日本証券代行株式会社 本店・全国各支店(※2)
 ホームページアドレス http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html
 上場証券取引所 東京証券取引所(市場第一部)

(お知らせ)
 (※1) 当社の株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社は、関係当局の許認可を前提に、平成24年4月1日をもって、住友信託銀行株式会社、中央三井アセット信託銀行株式会社と合併し、「三井住友信託銀行株式会社」となります。
 株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社
 連絡先 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 (住所、電話番号の変更はございません)
 (※2) 日本証券代行株式会社による取次事務につきましては、平成24年3月末をもって終了させていただきます。

株式に関する諸手続のお申し出先について

- 住所変更、配当金受領方法の指定、単元未満株式の買取請求及び買増請求などの株式の諸手続につきましては、お取引のある証券会社にお申し出ください。
- 証券会社に口座がないため、特別口座が開設されました株主様の株式の諸手続につきましては、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行にお申し出ください。
- 未受領の配当金のお支払につきましては、株主名簿管理人である中央三井信託銀行の本店・全国各支店でお取り扱いいたします。